

こども未来コース（学童期編）

〔概要〕：学童期（小学生時代）は学校生活の始まり（6～8歳）、9～10歳の壁、子ども時代の完成（思春期の入口、11～12歳）を含む大切な時期です。
家から学校生活に移行する意義、理解の仕組み、やる気、仲間関係、個性による違い、行動変容について考えていきます。（全6回）

〔対象〕：学童期の子どもの発達に関心のある方

〔講師〕：広島国際大学 健康科学部 心理学科 准教授 鹿嶋 達哉

回数	日時	講座名	講座内容
1	9月2日（金） 10：00～11：15	学校は何のため？	コロナ禍による休校明けの子どもの表情を見ていると、学校の大切さがよくわかります。 学童期（6～12歳）に家を出て、教師の指導の下、友だちと生活しながら、学ぶ（勉強する）学校生活の意義をあらためて考えていきます。
2	9月9日（金） 10：00～11：15	なぜわからないの？	学んだことや教えてもらったことはなかなか身につけません。 わかる仕組みとわかりにくくなる原因や理由から、わかりやすくなる工夫と教えるときの配慮事項について考えていきます。
3	9月16日（金） 10：00～11：15	やる気が出ないのはなぜ？	「学びからの逃走」「無気力」などやる気（動機づけ）の低さが問題とされる子どもでもゲームやスポーツなど「はまった」ものには打ち込みます。大人がやる気を育てるつもりでも逆に削いでしまうことも多々あるようです。 やる気が出るしくみとやる気を削がない対応について考えていきます。
4	9月30日（金） 10：00～11：15	仲がいいのにけんかするのはなぜ？	だんだん親とのお出かけよりも友だちとの遊びを優先するようになってきます。 子どもが友だち（仲間）との関係の中で、楽しみながら協力・競争・調整の体験をすることにより、自己と友人、社会を作っていく過程を考えていきます。
5	10月7日（金） 10：00～11：15	なぜあの子はあることをしたのか？	子どもの行動には意味があります。大人にはわかりにくいものも多々あります。子どもは一人一人違います。子どもに個性があるだけでなく、それを見て理解する大人にもタイプがあります。 行動の意味や性格をわかる・理解するとはどのようなことを考えていきます。
6	10月14日（金） 10：00～11：15	行動は変えられるの？	行動を変えるには内（こころ）から変える方法と環境（からの反応）を変える方法があります。 基本的な学習理論（行動と環境との関係を扱う）とその日常生活や教育場面への応用について考えていきます。

※留意事項

オンライン開講（Zoom）のため、受講にはZoomを利用できる環境が必要です。
講座内容は原則、2021年度と同様になりますので、受講の際はご注意ください。